月刊脊振（げっかんせふり）

福岡県議会議員
（南区選出）
ひぐち明後援会会報誌

ひぐち明後援会事務所
〒811-1311
福岡市南区横手4-5-1
TEL.092-573-1892
FAX.092-573-1897

ホームページ
www.higuchi-akira.com

学校現場のいま　～子どもとの接し方

今、いじめの問題や学級崩壊など、教育現場の混乱が毎日のように報じられています。そんななか、学校教育法が改正され、いわゆる問題行動を繰り返し行い、他の児童・生徒の教育に妨げがあると認められた生徒については、その保護者に対して市区町村の教育委員会が出席停止を命じることができるという「出席停止制度」問題が世間を騒がせました。今回は、この出席停止制度についてお話していきたいと思います。

先日、私の小学校の頃の恩師にお会いする機会がありました。２４年ぶりにお会いして、先生に大声でしかられたり、「悪さ」をしてゴツンと一発やられたり（私は悪ガキでした）思い出がよみがえり、懐かしさで胸がいっぱいだったのですが、先生から気になる一言がありました。「いまは子ども達がどんなに〈悪さ〉をしても、大声で叱ったり、少しでも腕をつかんで静止したりするのは厳禁、叩くなんて言語道断だ。優しく教え諭して、言うことを聞かなかったらもうなすすべは無い。」そうおっしゃるのでいつも元気のよい大声で、叱ったり大笑いしたりしてのいたかつての恩師から聞いたり学級崩壊の現実と、なすすべのない教師の皆さんの葛藤は、私の心に大きな衝撃を与えました。教師によっては、メディアを通じて大きく取りざたされた結果、憎まれ役の体罰が社会問題化し、体罰や児童虐待だけでなく、本当に愛のこもった「教育」とは一喝まで一括りにしてしまうようになってしまったもの、排斥されるようになってしまったもの、子ども達が怪我をしたり、心の傷になったりするようなもちろん、叱り方は徹底的に排除すべきです。しかし、怒りに任せた暴力などではなく、教育者として自覚を持った叱り方まで排斥することは子ども達にとって大きな

出席停止よりもまず、子ども達の心のケアを。

過剰な問題行動は、子どもたちのためにきちんと叱ってやらなければなりません。出席停止にして、子どもを家に閉じ込めても解決しないのです。きちんと叱ってやり、なぜそんな問題行動を起こしたのかについて、じっくりと原因を聞いてやること。誰かが真剣に向き合って、心の内を吐き出させること。それこそが、教育現場における問題解決の方法ではないでしょうか。そして、密接なコミュニケーションによって生徒、保護者、教師の３者の間に信頼関係が回復すれば、現在の教育現場の混乱も回復していくのではないでしょうか。

しかし、いまの教育現場では学校週５日制等の影響もあり、授業をこなしていくことで精一杯の先生達は、生徒一人ひとりの状態を細かく把握することが困難になっています。そうであれば、まずは各校に必ず一人以上、子ども達が心を開いて話せる大人がいる状況を作ること、具体的には専門知識をもつたスクールカウンセラーや補導教員を増員し、各校に配することが急務だと考えています。現在のスクールカウンセラーや補導教員は、人数の不足から一人が数校を掛け持ちしている状態です。このような状況下では、何か問題が起こったときに敏速に対応することができなかったり、あるいは十分に生徒の話を聞いてやることが時間的に難しくなったりしてしまいます。未来の福岡を担う子ども達の教育のために、その予算をきちんと配分し、多くの人材を育成して、きる限り早期に子どもの予算をとりまく環境を改善していくことが急務と考えます。このことこそ、皆さまのおかげで２期目を務めさせていただくことになったことへの感謝と決意をこめて、今後の私の政策のひとつとして掲げていきたいと思います。

マイナスになることは疑いをいれません。先生と生徒の間に愛情と信頼関係を創るためには、先生が、教師としての誇りを持って生徒に真剣に向き合う環境が必要でしょう。そして、先生達が教育に情熱を注ぐからこそ、生徒たちは先生を信頼し、尊敬するものではないでしょうか。子どもたちは、「悪さ」をするとき、自分が悪いことをしたにも関わらず、自覚を持っているものです。そして、自分が悪いことをしたにも関わらず、きちんと叱られることがない。そんな状況で、子どもたちは善悪をしっかりと身に付けた大人として成長するのでしょうか？

南区トピックス

少子化や教育問題になやむ現代の日本。私たちの南区は、未来を支える新生児の数では福岡市内でもトップレベルにあります。最近のデータでは常に東区に次ぐ２位が指定席。最新のデータでは、ひと月に１９５人もの新生児が南区民の仲間入りをしました。その他、転入者などを合わせると、区民数の増加では市内随一を誇る南区。転入者の心をも惹きつけている温かい雰囲気を、大切に次世代に伝えていきましょう。

この用紙は、エコマーク認定の
100%再生紙を使用しています。

福岡県議会議員
自由民主党
ひぐち明（あきら）

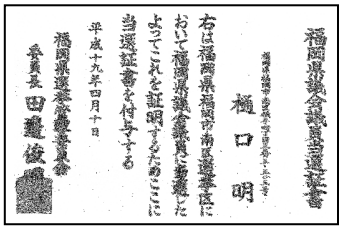
（福岡市南区選出）

統一地方選挙も終わり早1ヶ月が経ちました。
皆様の絶大なるご支援により再選を果たさせて頂きました。
本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。
私は前回の選挙同様、自転車に乗って今回も選挙を戦いました。
前回と今回で明らかに違った点は「体力」です。
「この坂の傾斜は前に比べて急になっているのでは！！」と思うような坂がけっこうありました。選挙初日と二日目は自転車の乗りすぎでフラフラになりましたが、日が経つにつれ体力は回復し、選挙後半は体力的には殆ど疲れなくなっていました。4年後の選挙は私も40歳。「次も自転車で行きます」と言いたいところですが、体力と相談して決めたいと思います。
4年間の任期を全力で頑張ります。
ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。　　ひぐち明

ひぐち明の「4月度の活動」

➡ http://www.higuchi-akira.com/ でも日々更新中

4月 8日	統一地方選挙投票日 18.939票頂き再選させていただきました。御礼・感謝
4月 10日	東福岡高校第53回入学式 私は第32回の入学生でした。
4月 15日	第25回福岡市少年空手道大会 努力に勝る天才なし。ちびっ子たちガンバレー！
4月 26日	第30回福岡県宅建協会南部支部総会 初参加で初対面の人ばかり。名刺が足りなくなるところでした。
4月 27日	自民党所属新人議員総会 自民党県議の初会合。前回は大荒れ。今回はあっさりでした。
	福岡市カヌー協会総会 老司の那珂川河畔公園にカヌー艇庫設置決定！


福岡県議会議員当選証書

樋口　明

右は福岡県福岡市南区選挙区において福岡県議会議員に当選したことを証明するためここに当選証書を付与する

平成十九年四月十日

福岡県選挙管理委員会
委員長　田邊俊

▲当選証書をいただきました!

ひぐち明略歴

福岡南博多（なんぱく）幼稚園卒園
福岡市立春吉小学校卒業
福岡市立春吉中学校卒業
東福岡高校卒業
カナダ合衆国州立コンコーディア大学中退
国会議員秘書・設計会社社員を経て、
2003年4月福岡県議会議員に初当選
2007年4月福岡県議会議員に再選・現在2期目

◇昭和45年10月15日生まれ・36歳
◇てんびん座・O型
◇家族構成　　妻　息子
◇スポーツ歴　　空手3年　・　ラグビー3年　・
　　バスケ3年　・　レスリング12年
◇趣味　　家族旅行

妻コラム

皆様こんにちは。
お元気ですか？
本当にあっという間の選挙で、皆様のご迷惑をお掛けしたと思います。
主人が当選させて頂きましたのは、沢山のご支援を頂きまして、心から感謝しております。
それでも温かいご期待とお叱りのお言葉を頂きまして、主人の引き締まる思いです。
皆様の代弁者であるはずの主婦共々、至らない点の多さに改めて反省しました。